

第 599 回 例 会

26年8月22日

本日のプログラム

- ・ソング 「われら日本ロータリアンの歌」
- ・卓話 クラブフォーラム
会員増強委員会 吉田 正信 委員長
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

次回(8月29日)のプログラム

- ・第600回記念例会(家族例会)
時間 18:30 ~
場所 ホテル京阪ユニバーサル・タワー
32階「トップオブ・ユニバーサル」

先週(8月1日)の例会報告

■会長の時間

先週、最高裁、2つの最高裁判決について述べて、数回、関連してお話をするといいました。しかし、今週、二つの殺人事件のニュースが世間を騒がせました。そこで、最高裁のことは次週以降にして、これらの事件についての私の感想を話します。

一つは、佐世保市で起きた15歳少女による同級生殺害です。もう一つは、新潟で3名程度の女性に対する強姦殺人の嫌疑です。私の認識では、これらの犯罪は、持って生まれた資質によるものです。前者については世間もそう思うでしょうが、後者もそうです。この手の犯罪をする人は、刑務所から出ると、又、同じ犯罪を繰り返します。私の修習時代の経験では、刑務所を出た日に、強姦罪を犯した事案もありました。

従って、本来、刑法が予定している「けしからぬことをした」との規範的責任は問えない犯罪です。しかし、社会は、この手の犯罪を放置できませんから、刑務所に入れ、又は死刑にします。そこでは、社会防衛の要素が色濃くでています。

佐世保の事件は猟奇的な事件であり、又、加害者、被害者(?)とも、父親が弁護士ということで、ネットでは、加害者及び加害者の家族に関する情報があふれています。

少年事件ですから、昔であれば秘匿されていました。しかし、今日のようなネット社会では、話題性のある事件については秘匿できない状況です。世間には秘匿がおかしいとの意見もあります。いずれにしても、このネット社会の中で、少年事件の扱いをどうするかは社会全体で考えなければならない問題です。

【来客紹介】 4名

【出席報告】

26年8月1日(第598回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
35名	2名	25名	8名	75.76%

【幹事報告】

〔メールBOXに配布〕

- 1)ロータリーの友(8月号)
- 2)当クラブ「2014~2015年度 概況報告書・活動計画書」
- 3)地区大会のご案内(リーフレット)
- 4)地区委員会「活動計画書」
- 5)ガバナー月信(8月号)

〔メール送信〕

- 1)第600回例会のご案内 ⇒ 7/28 配信 (出欠回答は8/8まで)

〔回覧資料〕

- 1)他クラブより例会変更のお知らせ(大阪そねざきRC・大阪難波RC)

ニコニコ箱(8月1日)

近藤 菜穂子(地区米山奨学委員長) =米山奨学委員会より参りました。

昨年度はありがとうございました。今年もどうぞよろしく願いいたします。

小山 登(大阪西北RC) =第35回大輪ゴルフ大会のご案内に参りました。よろしく願い致します。

東 健三 =今日は私の仲間でロータリーってどんな所かって、やたらモチベーションを募らせた結果、それではと小生がご案内することに相成りました。どうぞよろしく。

橋本 勉 =ちょっと嬉しいことがありました。

母校の龍谷大平安が圧倒的な強さで京都予選を勝ち上がり、春夏連覇を目指します。応援宜しくお願い致します。

川上 大雄 =もう8月ですかあ~!

小林 知義 =今日は卓話です。うまくしゃべれるかドキドキです。

森本 良嗣 =今日はニコニコキャンプの開講式に、賑わしに行かせてもらいます。

斧原 邦夫 =暑中お見舞い申し上げます。今日は小林さんの卓話、楽しみにまいりました。

大屋 準一 =暑いです。気温と体温が同等の温度ですね。皆様方、熱中症にご注意下さい。

高野 幸雄 =子供を連れてニコニコキャンプの開講式に参りますので、例会は失礼します。理事会には戻って参ります。

和氣 勝海 =夏本番、暑い！ 小林さん、卓話楽しみにしています。

吉田 正信 =夏休みもうすぐです。楽しみです。

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 30000円	今年度合計 3719807円
---------	-------	------------	----------------

卓話(8月1日)

「世阿弥の生涯」 小林 知義 会員

1. 世阿弥の出生

世阿弥は大和猿楽の結崎座、観阿弥の息子として、奈良に生まれています。観阿弥はその当時、時の大將軍、足利義満から、全国の猿楽の最高峰の地位を与えられています。13歳の世阿弥も、その頃は、義満の寵愛を一心に受けていました。

ただ、義満は時が経つにつれて、物まねと荒事が全ての大和猿楽から、羽衣の舞などを得意とする優雅な近江猿楽へと興味が移り、道阿弥を寵愛するようになったと言われていました。

世阿弥の能楽への、飽くなき探求は、この出来事を契機に始まったと考えられています。世阿弥は、役者として、演出家として、作家として、評論家として、能楽の基礎のすべてをつくった偉大な天才という評価を受けていますが、それは、芸術性を見抜くすばらしい眼力を持つ、時の権力者、義満を意識して、好かれたい、嫌われたくないという強い思いから磨かれたと言われていました。

2. 世阿弥の目指した究極の芸の境地

能楽の演者としての究極の目標となるのが花。花のある舞台、花のある演技を求めます。現在でも花がある役者などと、同じ意味で使われる事は多いです。ただ、世阿弥の言う花は、時として、変幻自在に変化します。若いときは、何もしなくても「時分の花」として咲かせることはできるのですが、世阿弥は、演者として年老いるほどに「まことの花」を求めなければならない教えています。ずっと、ただ単に、同じ演技を続けているだけでは、花はなくなってしまうし、多くの大衆に認められのなければ、花とは言わないとも述べています。最後に、秘すれば花であるが、秘密でなければ花とはならない。いくつになっても、しっかり、精進すれば、まことの花を演ずることができると、彼は花伝書の中で述べています。

昔からの美意識を表現する言葉として、「わび」「さび」「あわれ」という言葉がありますが、これは、平家物語のはじまりの部分では「祇園精舎の鐘の音に、諸行無常の響きあり」と表現されています。また、万葉集の成就しない恋の歌にも、「あはれ」はよく使われていますが、西洋人には、少し、よく解らない感覚だそうで、日本人共通の、独特の美意識だと言われていました。この延長線上にあるのが、幽玄という言葉で、優雅で滅び行く美しさを言い表しています。世阿弥が、更に、夢幻能の中で、ブランド化したと言われていました。具体的にどうしたのかというと、世阿弥の最大のライバルであった近江猿楽の道阿弥の天女の舞を、大和猿楽にうまく取り入れ、優雅で巧みな能楽を完成させたと言う事です。その境地を幽玄と呼んでいます。

3. 世阿弥の最後

世阿弥は、室町幕府の3代將軍、足利義満に一時は寵愛されたが、大半はそうではない時代を能楽一筋に打ち込んできた。しかも、老年72歳の時に、6代將軍義教にうとまれ、佐渡に流された。苦節5年を経て、義政の治世、78歳で復活を果たすという波瀾万丈の一生をおくってきた。当時、最大のパトロンだった歴代將軍との芸を通じての戦いには、時代を超越する程の凄みを感じざるを得ない。

シェークスピア生誕の200前の事なのだが、彼の言葉は、人生の教訓として、今でもイキイキと輝きを失わない。日本芸術家史上最大の人物だと思います。

以上

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459

会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか